



厚 企 画 号
平成 19 年 5 月 1 日

国土交通省道路局長 様

厚真町長 藤 原 正 幸



中期的な計画の作成にあたっての意見について

平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 114 号で依頼のありました標記件につきまして、別添のとおり意見書を提出いたします。

厚真町まちづくり推進課企画調整 G 小松豊直
TEL0145-27-2321 fax27-2328 内線 324
email : machidukuri.k@town.atsuma.hokkaido.jp

中期的な計画の作成にあたっての意見書

(北海道厚真町)

<重点化を進める上で特に優先度の高い政策>

- 道内各都市の生産拠点と空港・港湾への道路ネットワーク整備。
 - ・ 高規格幹線道路等による道路ネットワークの立ち遅れが道内経済の地域格差を助長する一因となっている。今後物流の拠点となる新千歳空港、苫小牧東部地域、苫小牧港東港への交通アクセス強化による時間短縮・輸送コスト縮減が必要不可欠である。
- 具体施策：開発道路（道道北進平取線、道道夕張厚真線）及び高規格幹線道路日高自動車道厚真 IC の接続道路となる道道厚真浜厚真線の整備

- 地域社会を支える安全、早急、快適な移動を確保するための地域都市間基幹道路整備。
 - ・ 人口減少により地域から医療施設、学校、店舗がなくなり都市部への通院通学等を余儀なくされており、また、救急医療の不安からさらに人口流出の悪循環になっている。地域社会を支えるためには、地方と都市を安全快適早急に移動できる基幹道路整備が必要である。併せて都市内で公共交通機関への乗換えを容易にできる駐車場一体型の交通アクセス整備も必要である。
- 具体施策：苫小牧厚真通（都市計画道路）の整備（救急患者移送時間及び通学時間の短縮）

<効率化を徹底的に進める上で重要な事項>

- 高速道路料金の引き下げによる広域移動の円滑化及び一般道路の負荷軽減。

<その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関すること>

- 都市圏に対し、効率・効果・経済性など数値に表れない地域の実情を勘案し、未整備となっている地方幹線道路について、地方を重視した整備基準を確立して欲しい。
- 高齢化した道路ストックの効率的な管理改修方法の確立と財政支援。
- 生活道路整備のための道路財源確保。
 - ・ 当町の生活道路舗装率は 60%と低く、住民からの整備要望が強いが、新たな財政措置・支援がなければ難しい。